

サーバの管理

- ・サーバーのブート順の設定(1ページ)
- ・サーバーのリセット (3ページ)
- サーバーのシャットダウン (3ページ)
- Cisco IOS CLI 設定変更のロック (4ページ)
- Cisco IOS CLI 設定変更のロック解除 (5ページ)
- ・サーバーの電源管理 (7ページ)
- •ブート順の設定 (13ページ)
- BIOS の設定 (15 ページ)

サーバーのブート順の設定

.



(注) ホストが BIOS 電源投入時自己診断テスト (POST) を実行している間は、ブート順を変更しないでください。

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

| | コマンドまたはアクション | 目的 | |
|-------|---|---------|------------------------------|
| ステップ1 | Server# scope bios | BIOS コマ | ンドモードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /bios # set boot-order <i>device1</i> , <i>device2</i> , <i>device3</i> | ブートデ | バイス オプションと順序を指定します。 |
| | | (注) | オプションでは、大文字と小文字は区別 されません。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|--------------------------------|------------------------------|
| | | 次の1つ以上を選択できます。 |
| | | • uefimap |
| | | • uefios |
| | | • uefipxeTE0/TE1/TE3/TE4 |
| | | • uefipxeGE2 |
| | | |
| ステップ3 | Server /bios # commit | トランザクションをシステムの設定にコミットしま オ |
| | | У о |
| ステップ4 | (任意)Server /bios # show detail | サーバーのブート順を表示します。 |

次回の BIOS ブートでは、新しいブート順が使用されます。

例

次に、ブート順を設定し、トランザクションをコミットする例を示します。 server /bios # set boot-order uefimap, uefios To manage boot-order: - Reboot server to have your boot-order settings take place - Do not disable boot options via BIOS screens - If a specified device type is not seen by the BIOS, it will be removed from the boot order configured on the BMC - Your boot order sequence will be applied subject to the previous rule. The configured list will be appended by the additional device types seen by the BIOS - Legacy Boot Order configuration will disable all the active Boot Devices which will hide them from BIOS server /bios *# commit Changes to BIOS set-up parameters will require a reboot. Do you want to reboot the system?[y|N]y A system reboot has been initiated.

server /bios # show detail
BIOS:
BIOS Version: UCSEDM6_1.08
BIOS Flash: 1
Backup BIOS Version: UCSEDM6_1.08
Backup BIOS Flash: 0
BIOS Post Complete: 0
Boot Order: UEFIMAP,UEFIOS
FW Update Status: Done, OK
Password: ******
server /bios #

サーバーのリセット

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限でログインする必要があります。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 | |
|-------|------------------------------------|-------------|---|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーショ | コマンドモードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /chassis # power hard-reset | 確認プロン す。 | /プトの後に、サーバーがリセットされま |
| | | (注) | サーバーの電源の再投入は、x86 サー バーの電源をオフにしてからオンにする ことと同じです。 |
| | | (注) | 電源のハードリセットは、サーバーの実 際のリセット ボタンを押す動作と同じ です。 |

例

次に、サーバをリセットする例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # power hard-reset
This operation will change the server's power state.
Continue?[y|N]y
```

サーバーのシャットダウン

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限でログインする必要があります。

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|-----------------------|----------------------|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーシ コマンド モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|----------------------------------|---------------------------------|
| ステップ2 | Server /chassis # power shutdown | 確認プロンプトの後で、サーバーをシャットダウン します。 |

次に、サーバーをシャットダウンする例を示します。

```
Server# scope chassis
Server /chassis # power shutdown
```

This operation will change the server's power state. Do you want to continue?[y|N]y

Cisco IOS CLI 設定変更のロック

Cisco IOS CLI を使用して設定変更が行われないようにするには、この手順を実行します。

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|--|--|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーシ コマンド モードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /chassis # show detail | (任意)サーバーのプロパティを表示します。IOS ロックアウトの現在のステータス(ロックまたは ロック解除されているかどうか)を決定することが できます。 |
| ステップ3 | Server /chassis # set ios-lockout locked | 設定変更が Cisco IOS CLI を使用して行われないようにします。 |
| ステップ4 | Server /chassis* # commit | 変更をコミットします。 |
| ステップ5 | Server /chassis # show detail | (任意)サーバーのプロパティを表示します。IOS ロックアウトの現在のステータス(ロックまたは ロック解除されているかどうか)を決定することが できます。 |

次に、設定変更が Cisco IOS CLI を使用して行われないようにする例を示します。

Server /chassis # show detail Chassis: Power: off IOS Lockout: unlocked Power Button: unlocked Reset Button: unlocked Serial Number: FOC26285Q4B Product Name: UCS E1100D M6 PID: UCS-E1100D-M6 UUID: 1CD1E026-089C-0000-E822-D9826168E8F8 Description: Asset Tag: Unknown FPGA Version: 3.4.2 Uptime: 22 hours, 54 minutes SBFPGA Version: 1.0.2 MCU Version: 240.10 AIKIDO Version: 2711-270 Last Reboot Reason: Flash Reset Server /chassis # set ios-lockout locked Server /chassis *# commit Server / chassis # show detail Chassis: Power: off IOS Lockout: locked Power Button: unlocked Reset Button: unlocked Serial Number: FOC26285Q4B Product Name: UCS E1100D M6 PID : UCS-E1100D-M6 UUID: 1CD1E026-089C-0000-E822-D9826168E8F8 Description: Asset Tag: Unknown FPGA Version: 3.4.2 Uptime: 22 hours, 54 minutes SBFPGA Version: 1.0.2 MCU Version: 240.10 AIKIDO Version: 2711-270 Last Reboot Reason: Flash Reset

Cisco IOS CLI 設定変更のロック解除

この手順を使用して、Cisco IOS CLI を使用した設定変更を許可します。

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

| ギ | 山古 |
|---|------------|
| ╈ | 川 貝 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|--|--|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーシ コマンド モードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /chassis # show detail | (任意)サーバーのプロパティを表示します。IOS ロックアウトの現在のステータス(ロックまたは ロック解除されているかどうか)を決定することが できます。 |
| ステップ3 | Server /chassis # set ios-lockout unlocked | Cisco IOS CLI を使用した設定変更を許可します。 |
| ステップ4 | Server /chassis* # commit | 変更をコミットします。 |
| ステップ5 | Server /chassis # show detail | (任意)サーバーのプロパティを表示します。IOS ロックアウトの現在のステータス(ロックまたは ロック解除されているかどうか)を決定することが できます。 |

次に、Cisco IOS CLI を使用した設定変更を許可する例を示します。

```
Server /chassis # show detail
Chassis:
   Power: off
   IOS Lockout: locked
    Power Button: unlocked
   Reset Button: unlocked
   Serial Number: FOC26285Q4B
    Product Name: UCS E1100D M6
   PID : UCS-E1100D-M6
   UUID: 1CD1E026-089C-0000-E822-D9826168E8F8
   Description:
   Asset Tag: Unknown
    FPGA Version: 3.4.2
   Uptime: 22 hours, 54 minutes
   SBFPGA Version: 1.0.2
   MCU Version: 240.10
   AIKIDO Version: 2711-270
   Last Reboot Reason: Flash Reset
Server /chassis # set ios-lockout unlocked
Server / chassis *# commit
Server /chassis # show detail
Chassis:
    Power: off
    IOS Lockout: unlocked
    Power Button: unlocked
   Reset Button: unlocked
   Serial Number: FOC26285Q4B
   Product Name: UCS E1100D M6
   PID : UCS-E1100D-M6
   UUID: 1CD1E026-089C-0000-E822-D9826168E8F8
   Description:
   Asset Tag: Unknown
   FPGA Version: 3.4.2
```

Uptime: 22 hours, 54 minutes SBFPGA Version: 1.0.2 MCU Version: 240.10 AIKIDO Version: 2711-270 Last Reboot Reason: Flash Reset Server /chassis #

サーバーの電源管理

サーバーの電源投入



(注) サーバーの電源がCIMC経由以外の何らかの方法でオフにされた場合、サーバーは電源をオン にしてもすぐにはアクティブになりません。この場合、CIMCが初期化を完了するまで、サー バーはスタンバイモードに入ります。

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要が あります。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|----------------------------|-------------------------------------|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーシ コマンド モードを開始します。 |
| ステップ 2 | Server /chassis # power on | 確認のプロンプトが表示されたら、サーバーの電源 をオンにします。 |

例

次に、サーバーの電源をオンにする例を示します。

Server /chassis # power on This operation will change the server's power state. Do you want to continue?[y|N]y Server /chassis # show Power Serial Number Product Name PID UUID on FOC26071VZY UCS E1100D M6 UCS-E1100D-M6 1CD1E026-0311-0000-0F12-FC9ABB95AA0A

Server /chassis #

サーバーの電源オフ

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|-----------------------------|----------------------|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーシ コマンド モードを開始します。 |
| ステップ 2 | Server /chassis # power off | サーバーの電源をオフにします。 |

例

次に、サーバーの電源をオフにする例を示します。

Server /chassis #

サーバー電源の再投入

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限でログインする必要があります。

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|-------------------------------|-------------------------------------|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーシ コマンド モードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /chassis # power cycle | 確認のプロンプトが表示されたら、サーバーの電源 を再投入します。 |

| コマンドまたはアクション | 目的 | |
|--------------|-------|--|
| | (注) • | サーバーの電源の再投入は、x86 サーバーの電源をオフにしてからオンにすることと同じです。 |
| | | • 電源のハードリセットは、サーバー の実際のリセット ボタンを押す動 作と同じです。 |

次に、サーバ電源を再投入する例を示します。

Server# scope chassis Server /chassis # power cycle

This operation will change the server's power state. Continue?[y|N]y

電力復元ポリシーの設定

電力復元ポリシーによって、シャーシの電力供給が失われた後、サーバーに電力を復元する方 法が決定されます。

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

| 丰 | 順 |
|---|-----|
| | ~~~ |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|---|--|
| ステップ1 | Server# scope cimc | CIMC コマンド モードを開始します。 |
| ステップ 2 | Server /cimc #scope power-restore-policy | 電力復元ポリシー コマンドを入力します。 |
| ステップ 3 | Server /cimc/power-restore-policy # set policy {power-off power-on restore-last-state} | シャーシの電源が復旧した場合に実行するアクショ ンを指定します。次のいずれかを選択します。 |
| | | power-off:サーバーの電源は、手動で投入されるまでオフのままになります。 |
| | | power-on:サーバーの電源は、シャーシの電源 が回復したときにオンになります。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|---|--|
| | | restore-last-state:サーバーを電源損失前と同じ 電源状態(オフまたはオン)に復元します。こ れがデフォルトのアクションになります。 |
| ステップ4 | Server /cimc/power-restore-policy# commit | トランザクションをシステムの設定にコミットしま す。 |

次の例では、電力復元ポリシーを power-on に設定して、トランザクションをコミット します。

```
Server# scope CIMC
Server /CIMC # scope power-restore-policy
Server /CIMC/power-restore-policy # set policy power-on
Server /CIMC/power-restore-policy *# commit
Server /CIMC/power-restore-policy # show detail
Power Restore Policy:
        Power Restore Policy: power-on
```

```
Server /CIMC/power-restore-policy #
```

サーバーの前面パネルの電源ボタンのロック

物理サーバーの前面パネルにある物理電源ボタンをディセーブルにするには、この手順を使用 します。電源ボタンがディセーブルになると、前面パネルの電源ボタンを使用してサーバーの 電源をオンまたはオフにすることはできません。

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|---|---|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーシ コマンド モードを開始します。 |
| ステップ 2 | Server /chassis # show detail | (任意) サーバーのプロパティが表示されます。電 源ボタンの現在のステータス (ロックまたはロック 解除されているかどうか)を決定することができま す。 |
| ステップ3 | Server /chassis # set power-button locked | 電源ボタンをディセーブルにします。前面パネルの 電源ボタンを使用して、サーバーの電源をオンまた はオフにすることはできません。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|-------------------------------|---|
| ステップ4 | Server /chassis* # commit | 変更をコミットします。 |
| ステップ5 | Server /chassis # show detail | (任意) サーバーのプロパティが表示されます。電 源ボタンの現在のステータス (ロックまたはロック 解除されているかどうか)を決定することができま す。 |

次に、物理サーバーの前面パネルにあるサーバーの物理的な電源ボタンをディセーブ ルにする例を示します。

Server# scope chassis Server /chassis # show detail Chassis: Power: off IOS Lockout: unlocked Power Button: unlocked Reset Button: unlocked Serial Number: FOC26285PBW Product Name: UCS E1100D M6 PID : UCS-E1100D-M6 UUID: 1CD1E026-05DC-0000-88E4-3E11AF0AA302 Description: Asset Tag: Unknown FPGA Version: 3.4.2 Uptime: 4 hours, 22 minutes SBFPGA Version: 1.0.2 MCU Version: 240.9 AIKIDO Version: 271e-270 Last Reboot Reason: Flash Reset Server /chassis # set power-button locked Server /chassis *# commit Server /chassis # show detail Chassis: Power: off IOS Lockout: unlocked Power Button: locked Reset Button: unlocked Serial Number: FOC26285PBW Product Name: UCS E1100D M6 PID : UCS-E1100D-M6 UUID: 1CD1E026-05DC-0000-88E4-3E11AF0AA302 Description: Asset Tag: Unknown FPGA Version: 3.4.2 Uptime: 4 hours, 22 minutes SBFPGA Version: 1.0.2 MCU Version: 240.9 AIKIDO Version: 271e-270 Last Reboot Reason: Flash Reset Server /chassis #

サーバーの前面パネルにある電源ボタンのロック解除

物理サーバーの前面パネルにある実際の電源ボタンを有効にするには、この手順を使用しま す。電源ボタンが有効になっていると、前面パネルの電源ボタンを使用してサーバーの電源を オンまたはオフにすることができます。

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

| | - | | _ |
|---|---|-----|---|
| _ | | | ᆂ |
| _ | _ | | н |
| _ | _ | | н |
| | | ,,, | - |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|---|--|
| ステップ1 | Server# scope chassis | シャーシ コマンド モードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /chassis # show detail | (任意) サーバーのプロパティが表示されます。電 源ボタンの現在のステータス (ロックまたはロック 解除されているかどうか)を決定することができま す。 |
| ステップ3 | Server /chassis # set power-button unlocked | 電源ボタンをイネーブルにします。サーバーの電源 をオンまたはオフにするには、前面パネルの電源ボ タンを使用できます。 |
| ステップ4 | Server /chassis* # commit | 変更をコミットします。 |
| ステップ5 | Server /chassis # show detail | (任意) サーバーのプロパティが表示されます。電 源ボタンの現在のステータス (ロックまたはロック 解除されているかどうか) を決定することができま す。 |

例

次に、物理サーバーの前面パネルにあるサーバーの物理的な電源ボタンを有効にする 例を示します。

```
server /chassis # set power-button unlocked
server /chassis *# commit
server /chassis # show detail
Chassis:
    Power: off
    IOS Lockout: unlocked
    Power Button: unlocked
    Reset Button: unlocked
    Serial Number: FOC26285PBW
    Product Name: UCS E1100D M6
    PID : UCS-E1100D-M6
    UUID: 1CD1E026-05DC-0000-88E4-3E11AF0AA302
    Description:
```

Asset Tag: Unknown FPGA Version: 3.4.2 Uptime: 4 hours, 22 minutes SBFPGA Version: 1.0.2 MCU Version: 240.9 AIKIDO Version: 271e-270 Last Reboot Reason: Flash Reset server /chassis #

ブート順の設定

UEFI マップと UEFIOS を使用したサーバーのブート順の設定

いでください。

(注)

始める前に

このタスクを実行するには、user または admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

ホストが BIOS 電源投入時自己診断テスト (POST) を実行している間は、ブート順を変更しな

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|---|--|
| ステップ1 | Server# scope bios | BIOS コマンド モードを開始します。 |
| ステップ 2 | Server /bios # set boot-order {uefimap, uefios, uefipxeTE0, uefipxeTE1, uefipxeTE3, uefipxeTE4, uefipxeGE2} | Server/bios # set boot-order uefimap,uefios ブートデバイスオプションと順序を指定します。 (注) オプションでは、大文字と小文字は区別 されません。 次の1つ以上を選択できます。 uefimap : UEFI 仮想マップブートオプション uefios : UEFI オペレーティングシステム uefipxe : PXE ブート TE0 TE1 TE3 TE4 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|--------------------------------|-------------------------------|
| | | • GE2 |
| ステップ 3 | Server /bios # commit | トランザクションをシステムの設定にコミットしま す。 |
| ステップ4 | (任意)Server /bios # show detail | サーバーのブート順を表示します。 |

新しいブート順は、次回の BIOS ブート時に使用されます。

例

次に、ブート順を設定し、トランザクションをコミットする例を示します。

server /bios # set boot-order uefimap, uefios To manage boot-order: - Reboot server to have your boot-order settings take place - Do not disable boot options via BIOS screens - If a specified device type is not seen by the BIOS, it will be removed from the boot order configured on the BMC - Your boot order sequence will be applied subject to the previous rule. The configured list will be appended by the additional device types seen by the BIOS - Legacy Boot Order configuration will disable all the active Boot Devices which will hide them from BIOS server /bios *# commit Changes to BIOS set-up parameters will require a reboot. Do you want to reboot the system?[y|N]y A system reboot has been initiated. server /bios # show detail BIOS: BIOS Version: UCSEDM6 1.08 BIOS Flash: 1 Backup BIOS Version: UCSEDM6 1.08 Backup BIOS Flash: 0 BIOS Post Complete: 0

Boot Order: UEFIMAP, UEFIOS FW Update Status: Done, OK

Password: ****** server /bios #

(注)

UEFI セキュアブートを有効にすると、UEFI オプション(uefimap および uefios)のみ を使用できますさらに、UEFI セキュアブートを設定します。これにより、平均ブート 時間が約 45 ~ 50 秒短縮されます。

BIOS の設定

BIOS ステータスの表示

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|----------------------------|----------------------|
| ステップ1 | Server # scope bios | BIOS コマンド モードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /bios # show detail | BIOS ステータスの詳細を表示します。 |

BIOS ステータス情報には、次のフィールドが含まれます。

| 名前 | 説明 |
|-----------------------------|---|
| BIOS Version | 実行中の BIOS のバージョン文字列。 |
| Boot Order | サーバーが使用を試行する、ブート可能なター ゲット タイプの順序。 |
| FW Update/Recovery Status | 保留中のファームウェア アップデートまたは 回復アクションのステータス。 |
| FW Update/Recovery Progress | 直近のファームウェア アップデートまたは回 復アクションの完了率。 |

例

次に、BIOS ステータスを表示する例を示します。

```
SERVER /bios # show detail
BIOS:
BIOS Version: UCSEDM6_1.08
BIOS Flash: 1
Backup BIOS Version: UCSEDM6_1.08
Backup BIOS Flash: 0
BIOS Post Complete: 0
Boot Order: (none)
FW Update Status: Done, OK
Password: *****
```

サーバー管理 BIOS の設定

始める前に

このタスクを実行するには、admin 権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

| - | | |
|----------|-----|--|
| — | 川占 | |
| - | | |
| | 705 | |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|---|---|
| ステップ1 | Server # scope bios | BIOS コマンドモードを開始します。 |
| ステップ 2 | Server /bios # scope server-management | サーバー管理 BIOS 設定コマンド モードを開始しま す。 |
| ステップ3 | BIOS 設定を設定します。 | CLIコマンド、説明、および各BIOS設定のオプショ ンに関する情報については、セクション「サーバー 管理BIOS設定(20ページ)」を参照してくださ い。 |
| ステップ4 | Server /bios/server-management # commit | トランザクションをシステムの設定にコミットしま す。 変更内容は次のサーバーのリブート時に適用されま す。サーバーの電源が投入されている場合、すぐに リブートするかどうかを質問されます。 |

次に、ボーレートを 9.6k に設定する例を示します。 SERVER /bios # SERVER /bios # scope server-management SERVER /bios/server-management # set BaudRate <VALUE> 115.2k* | 19.2k | 38.4k | 57.6k | 9.6k SERVER /bios/server-management # set BaudRate 9.6k SERVER /bios/server-management *# commit Your changes will be reflected in BIOS on next boot. SERVER /bios/server-management #

BIOS CMOS のクリア

非常に珍しいケースですが、サーバーのトラブルシューティング時に、サーバーのBIOS CMOS メモリのクリアが必要になることがあります。この手順は、通常のサーバーメンテナンスには 含まれません。

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|---------------------------|-------------------------------------|
| ステップ1 | Server# scope bios | BIOS コマンド モードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /bios # clear-cmos | 確認を求めるプロンプトの後に、CMOSメモリがク リアされます。 |

次に、BIOS CMOS メモリをクリアする例を示します。

Server# scope bios Server /bios # clear-cmos

This operation will clear the BIOS CMOS. Note: Server should be in powered off state to clear CMOS. Continue?[y|N] y

BIOS パスワードの設定

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|---------------------------|-------------------|
| ステップ1 | Server/bios# set password | BIOS パスワードを設定します。 |

例

次に、BIOS パスワードを設定する例を示します。

Server/bios# **set password** Warning:

Strong Password Policy is enabled!

For CIMC protection your password must meet the following requirements: The password must have a minimum of 8 and a maximum of 20 characters. The password must not contain the User's Name. The password must contain characters from three of the following four categories. English uppercase characters (A through Z) English lowercase characters (a through z) Base 10 digits (0 through 9) Non-alphabetic characters (!, @, #, \$, %, ^, &, *, -, , +, =)

BIOS パスワードのクリア

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|-------|------------------------------------|---|
| ステップ1 | Server# scope bios | BIOS コマンド モードを開始します。 |
| ステップ2 | Server /bios # clear-bios-password | BIOS パスワードをクリアします。パスワードのク リア処理を有効にするには、サーバーをリブートす る必要があります。サーバーがリブートすると、新 しいパスワードを作成するように求められます。 |

次に、BIOS パスワードをクリアする例を示します。

Server# scope bios Server /bios # clear-bios-password

This operation will clear the BIOS Password. Note: Server should be rebooted to clear BIOS password. Continue?[y|N]y

BIOS デフォルトの復元

始める前に

このタスクを実行するには、admin 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

手順

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------------|-----------------------------------|---|
| ステップ1 | Server # scope bios | BIOS コマンド モードを開始します。 |
| ステップ 2 | Server /bios # bios-setup-default | BIOS のデフォルト設定を復元します。このコマン ドでは、リブートが開始されます。 |

例

次の例は、BIOS デフォルト設定を復元します。

```
Server# scope bios
Server /bios # bios-setup-default
```

```
This operation will reset the BIOS set-up tokens to factory defaults. All your configuration will be lost.
Changes to BIOS set-up parameters will initiate a reboot.
Continue?[y|N]y
```

サーバー BIOS 設定

次の各表に、表示および設定が可能なサーバー BIOS 設定を示します。



(注) お使いのサーバーでの BIOS 設定のサポート状況を確認することを推奨します。搭載されているハードウェアによっては、一部の設定がサポートされていない場合があります。

| 名前 | 説明 |
|-----------------------|---|
| Package C State Limit | アイドル時にサーバ コンポーネントが使用で きる電力量。次のいずれかになります。 |
| | ・サーバーは、すべてのサーバーコンポー ネントに全電力を常時提供します。この オプションでは、最高レベルのパフォー マンスが維持され、最大量の電力が必要 となります。 |
| | システムレベルの調整が進行中であるため、消費電力が高くなります。調整が完 了するまで、パフォーマンス上の問題が 発生する可能性があります。 |
| | CPU がアイドル状態の場合、システムは C3オプションを使用した場合よりも消費 電力をさらに削減します。このオプショ ンでは、節約される電力が C0 または C2 よりも多くなりますが、サーバーがフル パワーに戻るまで、パフォーマンス上の 問題が発生する可能性があります。 |
| | CPU がアイドル状態の場合、サーバーは コンポーネントに最小限の電力を供給し ます。このオプションでは、節約される 電力量が最大になりますが、サーバーが ハイパフォーマンスモードに戻るのに要 する時間も最も長くなります。 |
| | ・サーバは、使用可能な任意のC状態に入ります。 |
| | (注) このオプションは [CPU C ス テート (CPU C State)]が有 効の場合にのみ使用されま す。 |

詳細:プロセッサ **BIOS** 設定

詳細:USB BIOS 設定

| 名前 | 説明 |
|-----------|--|
| USB ポート 0 | USB ポート 0(KVM コネクタ)のステータ ス。次のいずれかになります。 |
| | •[無効(Disabled)]: USB ポート 0 は無効 です。 |
| | •[有効(Enabled)]: USB ポート 0 は有効 です。 |
| USB ポート 1 | USB ポート1(物理ポート)のステータス。 次のいずれかになります。 |
| | •[無効(Disabled)]: USB ポート1 は無効 です。 |
| | •[有効(Enabled)]: USB ポート1 は有効 です。 |

サーバー管理 BIOS 設定

| 名前 | 説明 |
|---------|---|
| FRB2 有効 | POST 中にシステムがハングした場合に、シス テムを回復するために CIMC によって FRB2 タイマーが使用されるかどうか。次のいずれ かになります。 |
| | • [Disabled] : FRB2 タイマーは使用されま せん。 |
| | [Enabled]: POST 中に FRB2 タイマーが開始され、必要に応じてシステムの回復に使用されます。 |

| 名前 | 説明 |
|---------------------|---|
| Console Redirection | POST および BIOS のブート中に、シリアル ポートをコンソール リダイレクションに使用 できるようにします。BIOS のブートが完了 し、オペレーティング システムがサーバを担 当すると、コンソール リダイレクションは関 連がなくなり、無効になります。次のいずれ かになります。 |
| | • [Disabled]: POST 中にコンソール リダイ レクションは実行されません。 |
| | 「有効(Enabled)]: POST 中にシリアル ポートAをコンソールリダイレクション 用にイネーブルにします。[シリアルポー トA(Serial Port A)]オプションを選択す る場合は、[詳細(Advanced)]メニュー の[Serial Port A]もイネーブルにする必要 があります。 (注) このオプションを有効にする 場合は、POST 中に表示され る Quiet Boot のロゴ画面を無 効にします。 |
| Flow Control | フロー制御にハンドシェイク プロトコルを使 用するかどうか。送信要求/クリアツーセンド (RTS/CTS)は、隠れ端末の問題によって生 じる可能性のあるフレーム衝突を減らすのに 役立ちます。次のいずれかになります。 |
| | • [None]:フロー制御は使用されません。 |
| | • [RTS-CTS]: RTS/CTS がフロー制御に使 用されます。 |
| | (注) この設定は、リモートターミナル アプリケーション上の設定と一致 している必要があります。 |

I

| 名前 | 説明 |
|---------------|--|
| ボーレート | シリアル ポートの伝送速度として使用される ボー レート。[Console Redirection] を無効にす る場合は、このオプションを使用できません。 次のいずれかになります。 |
| | • [9.6k]: 9600ボーレートが使用されます。 |
| | •[19.2k]: 19200 ボー レートが使用されま す。 |
| | •[38.4k]: 38400 ボー レートが使用されま す。 |
| | •[57.6k]: 57600 ボー レートが使用されま す。 |
| | •[115.2k]:115200 ボー レートが使用され ます。 |
| | (注) この設定は、リモートターミナル アプリケーション上の設定と一致 している必要があります。 |
| Terminal Type | コンソール リダイレクションに使用される文 字フォーマットのタイプ。次のいずれかにな ります。 |
| | • [PC-ANSI]: PC-ANSI 端末フォントが使用 されます。 |
| | •[VT100]:サポートされている VT100 ビ デオ端末とその文字セットが使用されま す。 |
| | • [VT100-PLUS]: サポートされている VT100-plus ビデオ端末とその文字セット が使用されます。 |
| | [VT-UTF8]: UTF-8 文字セットのビデオ端 末が使用されます。 |
| | (注) この設定は、リモートターミナル アプリケーション上の設定と一致 している必要があります。 |

| 名前 | 説明 |
|-------------------------------|--|
| OS Boot Watchdog Timer | BIOSが指定されたタイムアウト値でウォッチ ドッグ タイマーをプログラムするかどうか。 タイマーが切れる前にオペレーティング シス テムのブートを完了しない場合、CIMC はシ ステムをリセットし、エラーがログに記録さ れます。次のいずれかになります。 |
| | • [Disabled]:サーバーのブートにかかる時 間をトラッキングするためにウォッチドッ グタイマーは使用されません。 |
| | • [Enabled]: サーバーのブートにかかる時 間をウォッチドッグ タイマーでトラッキ ングします。指定された時間内にサーバー が起動しない場合 |
| OS Boot Watchdog Timer Policy | ウォッチドッグ タイマーが切れたときにシス テムで実行されるアクション。次のいずれか になります。 |
| | • [Do Nothing]: OS のブート中にウォッチ ドッグ タイマーが切れたときに、サー バーの電源状態は変化しません。 |
| | • [Power Down]: OS のブート中にウォッチ ドッグ タイマーが切れた場合、サーバー の電源はオフになります。 |
| | • [Reset]: OS のブート中にウォッチドッグ タイマーが切れた場合、サーバーはリセッ トされます。 |
| | (注) このオプションは [OS Boot Watchdog Timer] を有効にする場合 にのみ適用されます。 |

次に、BIOS サーバー管理設定の例を示します。

server /bios/server-management # set

BaudRateBaud rateBootOrderRulesBoot Order RulescliCLI optionsConsoleRedirConsole redirectionFlowCtrlFlow ControlFRB-2FRB 2 TimerOSBootWatchdogTimerOS Watchdog TimerOSBootWatchdogTimerPolicyOS Watchdog Timer PolicyOSBootWatchdogTimerTimeoutOS Watchdog Timer Timeout

TerminalType Terminal type server /bios/server-management **# show detail** Set-up parameters: Baud rate: 115.2k Boot Order Rules: CIMC-config Console redirection: Disabled FRB 2 Timer: Enabled Flow Control: None OS Watchdog Timer: Disabled OS Watchdog Timer Policy: Reset OS Watchdog Timer Timeout: 10 minutes Terminal type: PC-ANSI 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては 、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている 場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容につい ては米国サイトのドキュメントを参照ください。